

環境汚染対策委員会ニュース

その3

「稲刈り」

六月一日に田植した稲が穂をたれて完熟し、色（黒色）づきました。二回の台風で、おおかたの稲が倒れてしまいました。植物管理室職員の皆さんによる適切な手入れの効果が、稲刈りができるまでになりました。



実りの秋

十月十三日の昼時間に、附属幼稚園年長組、年中組の体験学習隊（七十名）、文学部及び総合科学部の学部長、企画調査課長、工学部事務長等を招いて、盛大な稲刈り大会を行いました。今年の収穫量は、精米に換算して十キログラムです。

稲刈り後の田圃にはゲンゲの種を蒔いているので、来春にはゲンゲの花盛り、蓮華畑が蘇り、附属幼稚園児による蓮華畑散策学習隊の来園があることでしょう。



稲刈り風景

次は、餅つき大会の計画です。附属幼稚園での恒例の餅つき大会は、十二月三日です。収穫した黒米を持参の上参加させていただき予定です。また、できれば学長を招待して、来秋実施を予定されている統合移転完了記念事業イベントのりハーサルとして、紅白の餅つき大会を開催したいとも考えています。

ます。

このように、西条キャンパスのアカデミック地区のほぼ中央に田圃が蘇り、田植ができ、稲刈りができ、そして餅つき大会ができることは素晴らしいことではありませんか。機会があれば生態実験園を見学されて、いろいろ体験されてはいかがでしょうか。

その4

「野山を蘇生」

生態実験園内に野山を蘇生しようと計画し、少し手を入れています。野山をどのように蘇らせるかについては、筆者らでいろいろと思索していますが、迷案ばかりでした。最近になってやつと名案がうかびました。それは、西条キャンパス自然愛好会の景山満子さんに裏山の絵を書いていただくことです。

早速お願いし、お引き受けいただきました。書いていただいた絵を参考に、景山式野山を蘇生・創造することになっています。野山の近くに野池を配置し、山水画に見るような裏山に蘇生・創造したいとも考えています。

その5

「林間散策路が完成」

工学部の裏に松林が蘇りつつあります。

このたび、環境整備の一環として林間散策路が、写真のとおり完成しました。この散策路の周りには手入れのほどこされた松林があり、川縁には、廃棄田圃が残っています。これから手入れして、湿原に甦らそうと考えています。

ます。小河の中は、近日浚渫の予定で

あり、少し手を加えて、自然環境を蘇生・創造することになっています。

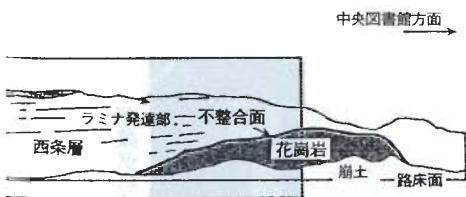
今、十一月十日にはリンドウの花盛り、三十本位花が咲いています。来春には、松林の間にササユリ等山野草が繁茂することでしょう。景色を見ながら散策できることと思います。散策を楽しんでください。しばらくは、野草を摘み取らないでください。

その6

「アカデミック地区内に学術的に貴重な地質・地層の露頭が」

中央図書館から総合科学部の間の仮設道路沿いに、きれいな地質露頭が、造成の結果出現しています。

この地質露頭は、地球科学及び地理学分野で研究・教育用教材として貴重な地質・地層のようです。筆者らは、この分野では最大の素人ですが、見た目にも美しい自然現象であること、そして熱心に地層等の調査・実習されている関連学部の研究者・学生の姿に感嘆・感銘・共鳴しました。





工学部の裏に林間散策路

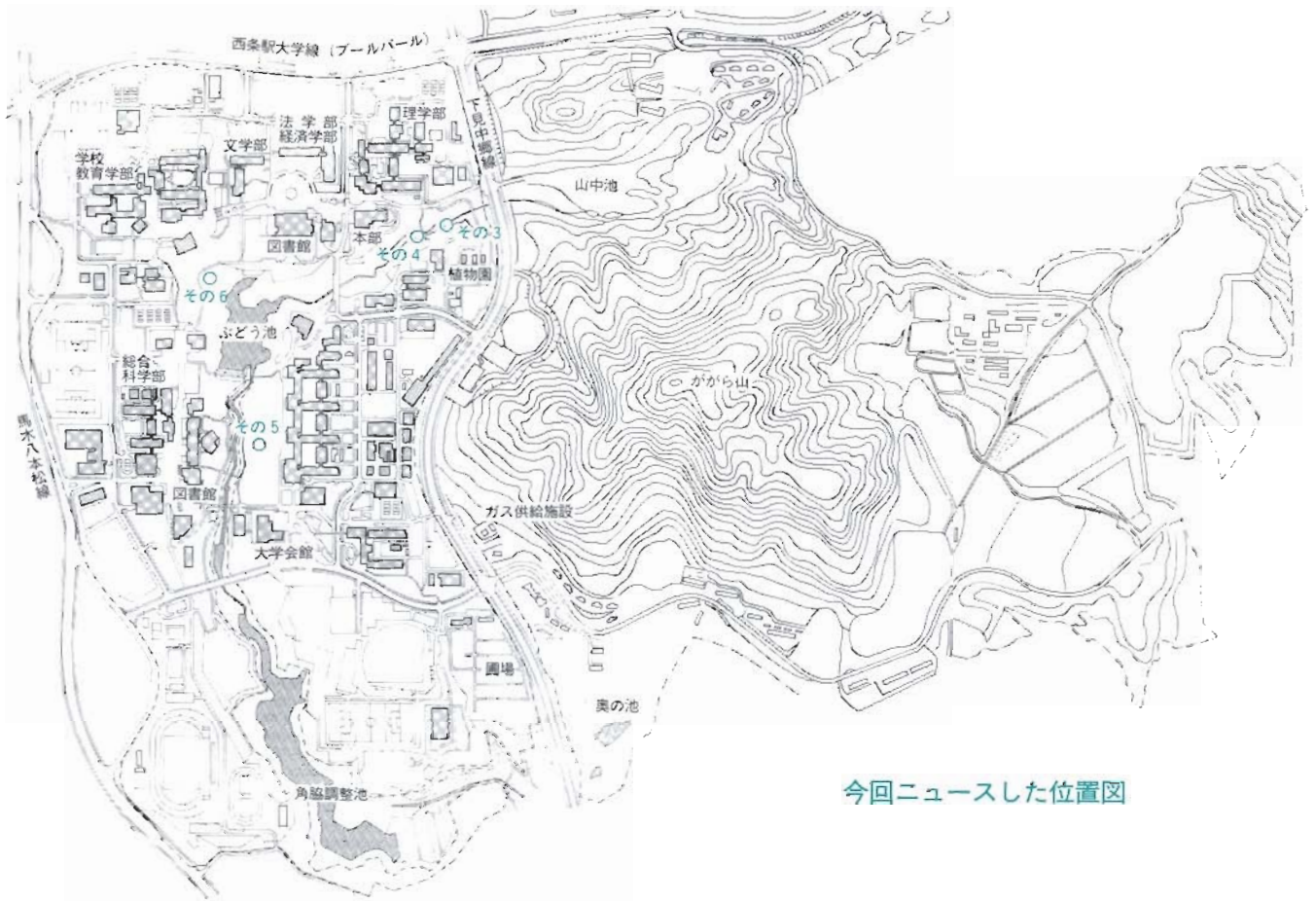
そこで、学術的に大変に貴重な地質・地層の地質露頭保存願いの提案をさせていただきます。現在、統合移転実施計画委員会等で検討していただいていると聞いています。ここでは、筆者には学術的な解説ができませんので、詳細説明は以後専門家にゆずることにします。

そこで本号では、専門の教官に書いていただいた露頭のスケッチ図を示し、読者諸氏にその地質露頭を公開します。

環境汚染対策委員会 委員

同専門委員会 委員

正藤英司（しょうとう・えいじ）



今回ニュースした位置図

仮設道路露頭スケッチ

